

消防吏員用活動服仕様書
(夏期用)

令和元年度

匝瑳市横芝光町消防組合

第1 総 則

- 1 本仕様書は、匝瑳市横芝光町消防組合（以下「当組合」という。）において購入する消防吏員用活動服について必要事項を定めることを目的とする。
- 2 この活動服は当組合吏員が着用する制服で、消防活動に適用するものであること。
なお、活動服に使用する主材料及び付属品等は、着用に十分耐えられ、かつ、機能性のある優良な製品であること。
- 3 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積り額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
従ってデザイン料その他については、問題等が生じた場合には受注者の責任において解決するものとする。
- 4 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ、縫りムラなどの目立たないものを、また織り上がりは均整で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- 5 縫製については、各部の縫い合わせ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないように充分配慮し行わなければならない。
- 6 製品の納入に際しては、一着ごとにプレスした後ビニール袋により包装すること。
- 7 業者は一週間以内に試作見本を提出し、担当職員の検査を受けなければならない。
- 8 この仕様書に疑義を生じた時は、担当職員の指示を受けなければならない。
- 9 表生地等については、紡績メーカーの出荷証明書を契約後に提出すること。
- 10 数 量 活動服 74着
 ベルト 64本
- 11 納 期 令和元年8月16日（金）

第2 縫製仕様書

1 形式

(1) 上衣

カッター襟型、ファスナー式、長袖袖口ファスナー（水かき付）式、胸部左右雨蓋付きアウトポケット（左のみペン差し口付き）、左上腕ペン刺し付き、背ヨーク付き、背ヨークに当組合名プリント入り。

右袖にエンブレム（消防組合）を貼り付ける面ファスナーを縫い付けること。（肩の縫い目から約40mmの位置に縫い付ける。）

※詳細は、別紙1、別紙2、別紙3、別紙6のとおり。

(2) ズボン

長ズボン、ツータック付き、腰裏マーベルト付き、裾口シングル、ベルト通し8本付き、尻左右にポケット（ファスナー式）、脇ポケット（カーゴポケット式）

※詳細は、別紙4のとおり。

2 号型

号型寸法は、別紙5のとおり。

3 表生地材料及び付属品

- | | | |
|------------|-------------------------|-----------------------------|
| (1) 品名 | 日本毛織株式会社製の日毛（同等品）を使用する。 | |
| (2) 品番 | FN520・FX120又は同等品 | |
| (3) 色相 | C/＃ 濃紺/オレンジ | |
| (4) 混紡率 | メタ系アラミド繊維 | 54.5%以上 |
| | パラ系アラミド繊維 | 6.0%以下 |
| | 難燃レーヨン又は難燃ポリエステル | 17.5%以上 |
| | 静電性繊維 | 0.5%以上 |
| (5) 使用糸番手 | 経 36/2以上 × 緯 36/2以上 | |
| (6) 仕上げ密度 | 経 80本/吋以上 × 緯 70本/吋以上 | |
| (7) 品質 | 耐光 | 4級以上 |
| | 洗濯変退色 | 5級以上 |
| | 摩擦 | 4～5級 |
| | 汗変退色 | 5級以上 |
| | 帯電電荷量 | 7 μ m ² 未満 |
| | 厚生労働省安全指針 | 7 μ / m ² 以下 |
| | (8) 収縮率 | タテ 1.0%以内 ヨコ 1.0%以内 |
| (9) 洗濯後のしわ | | 4級以上 |
| (10) 組織 | 1/1平織 | |

4 材 料

区 分	仕 様	用 途
表 地	日毛 FN520・FX120又は同等品 メタ系アラミド繊維 54.5%以上 パラ系アラミド繊維 6%以下 難燃 ^ホ ポリエステル又はレーヨン 17.5%以上 静電製繊維 0.5% 糸番手 経度 36/2以上 X 緯 36/2以上	上 衣 ズボン
襟 芯	テトロン芯（織物芯）	主襟、襟台
配 色 生 地	難燃・消臭ツイル	襟台表・背ヨーク部・表襟 左右ポケット中央ヒダ
襟 吊	メーカー 表示したもの	襟
縫 糸	本縫 テロン糸又は ^ホ リアラミド ^ド 系 50番以上	
ファスナー	コイルファスナー（見本通りの物）	前立て・カフス 尻ポケット
面ファスナー	ベルクロ20mmブルー及び25mm	階級章台・前立て ネーム台 胸 ^ホ ケット雨蓋
ファスナー	YKK 3号	ズボン（前立て）
ベ ル ト	ナイロン100% コール織	二つ穴方式

5 条 件

(1) 針 数 (3 c m間の標準針数)

地縫い	1 2 針以上
飾り縫い	1 2 針以上
オーバーロック	8 針以上

(2) 穴かがり

ズボン 天狗釦部

(3) 釦 付

手付け 二条の糸を一つの穴に3～4回通し根巻は3回以上とする。なお、糸止めを完全にすること。

機械付け 釦一個の糸量は16針以上とし、機械調子は良好で糸止めが完全であること。

(4) 裁 縫

糸調子は上下とも、つれ、たるみの無いようにし、返し針を完全にすること。

縫糸はテトロン糸を使用のこと。

縫代は、各部分に適した十分なものとする。

6 縫製要領

縫い始め及び縫い終わりの返し縫いは十分に行うこと。

各部の縫い付けは良好で、特に環縫いは縫いはずれや目とびのないこと。

釦付け及び穴かがりは糸調子が良好であること。

飾りステッチ巾は、0.5 c mと端ミシンとし、飾りステッチは表ミシンとする。

(1) 上 衣

① 主 襟

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で8.7cm (衿台巾3.0cm以上) 衿先巾8.0cm以上とする。

衿羽部に、巾1cmのアクセントカラーを使用したトリミングを施すこと。

② 身 頃

前身は二枚ハギとし、バストラインで縫い合わせる。

胸部にて切り返し、前ヨークをつける。インターロック又は地縫い裁き目オーバーロックかがり、裁き目は上側に倒し0.5cmの1条の飾りミシン縫いする。

③ 襟 吊

衿吊は、所定のものを衿付中央に、はさみ縫付けとする。

④ 胸ポケット

胸ポケットは左右各1個で雨蓋付アウトポケットとする。雨蓋は身頃切り返し部に、はさみ縫付けとし、面ファスナーで止め、切り返しはオーバーロックがけとする。

雨蓋は巾中央で高さ6.5cm、横巾13.7cm、胸ポケットは切りポケットとし、口巾13.0cm、深さ14.5cm、中央部ヒダ巾5.0cmとする。なお、口の両端本縫いミシン門をする。

又、雨蓋・ポケット・ヒダ部には、0.5cm巾のダブルステッチを入れる。

上前中心側から 1.5cm の位置に幅 3.0cm のペン差し口を付け、口の両端は本縫いミシン門をする。なお左胸ポケット部の雨蓋取付部左端に警笛用ループを取り付けること。

⑤ 前立て

前立てはヒヨク仕立てファスナー式とし、上前裏はファスナーテープを見返しに挟み縫いをし、面ファスナーで三ヶ所止める。

下前は、ミシン身頃と見返しに挟み、地縫い返しし、0.5cm の1条の飾りミシンステッチ縫いをする。

前端のファスナー取り付け部は衿付けより 4.0cm 下げて取り付けること。

⑥ 肩当て

背ヨーク部は、配色地の一重とし前身を挟み込んで、端ミシンと飾りミシンステッチのダブルステッチ縫いをする。

ヨーク巾は中央で 18cm とし、配色オレンジを使用する。

⑦ 肩 縫

肩倒しくるみ縫いとする。

⑧ 脇 縫

下そでと通し縫いし、インターロック又は地縫い裁き目オーバーロックかがりをする。

裁き目は後ろへ倒す。

⑨ 袖 縫

袖は2枚そでとし、上袖縫いは地縫い片倒しし、1条のミシン縫いし、下袖縫いは身頃脇縫いと通し縫いする。

左袖取付部より 8cm 下によこ 5.5cm、たて 14cm のペン刺し（2本用）を取付けること。

右袖にエンブレム（横巾 8.5cm、縦 10.0cm）を貼り付ける面ファスナーを縫い付けること。（肩の縫い目から 4cm の位置に縫い付ける。）

インターロック又は地縫い裁き目オーバーロックかがりとする。

⑩ 袖付縫

袖付けは、身頃のくりを伸ばさないようにインターロック又は地縫い片倒しし、0.5cm の1条の飾りミシンステッチ縫いをする。

裁き目は、オーバーロックかがりとする。

⑪ 袖 口

ファスナー式とし、のぼりの高さは 18cm 開きは 14cm とし、開き止まりからカフス付け根まで水かき布を付ける。

袖口カフスに芯を入れて地縫い返しし、1条の 0.5cm の飾りミシンステッチをかける。なお、外側に約 2.0cm にヒダを2本取り、袖開き方向に倒す。

⑫ 片 布

氏名札片布には、納入年度、氏名、納入業者名を記入できるものを上前胸ポケット裏面中央に縫い付け、その下部にクロスラベルを縫い付ける。

⑬ サイズネーム

衿付中央の下縁にはさみ縫い付ける。

⑭ ネーム

左胸ポケット雨蓋上部押さえ縫い線（前ヨーク押さえ飾りミシン）から 1cm 上部中央にタテ 2.5cm、ヨコ 4cm のネーム取付用面ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付ける。ネームは横書きにオレンジ色の糸にて刺繍する。寸法は、タテ 2.5 cm、ヨコ 4 cm とする。

⑮ 階級章台座

右胸ポケット雨蓋上部押さえ縫い線（前ヨーク押さえ飾りミシン）から 1 cm 上の位置に、階級章取付用面ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付ける。寸法は、タテ 2.5cm、ヨコ 4cm とする。

⑯ 裾折り返し

裾は三ッ折とする。（アロハ型）

⑰ アクセントカラー（配色使い）

衿表（トリミング）・衿台表・胸ポケットヒダ部・背ヨーク部に指定の生地を使用する。

⑱ 刺繍

背ヨーク中心部に「当組合の指定する文字」を蓄光反射縫込みで入れる。字体、大きさは担当職員と協議し決定する。なお、文字については別紙 4 のとおり。

(2) ズボン

① 前タック

深さ 1 cm の外向きタックを左右に各 2 本付ける。

② 腰 帯

帯巾 3.5cm 仕上がり寸法とし芯地（33-58）を入れ裏は滑り止め付とする。ファスナー上部に前カンを取り付け、上前マーベルト下端に天狗釦を付ける。腰帯は、脇縫いの箇所では後ろ身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。腰帯内部に収縮テープ又はロックタイプのアジャスターを取付、前身側と後身側が互いに引き合い左右各 2.5cm 以上（ウエスト周りとして 5 cm 以上）腰周りの拡張ができるようにする。

③ ベルト通し

上端より 1 cm 下にループ巾 2 cm、長さ 5 cm のループを 8 本取り付ける。ベルト通し付けはミシン閉止めし、両端は本縫い 4 回以上とする。

④ 脇ポケット

カーゴポケット方式とし、両脇に雨蓋付きアコーディオンポケットを縫い付け、口幅約 16cm、深さ約 20cm とし、雨蓋は両端を面ファスナーにて留め、口端に閉止めをすること。

袋は地縫いと押えミシンの二重縫いとする。

⑤ 尻ポケット

上端より 8 cm、下に口巾 14 cm、深さ 18 cm の片玉にてポケット二個付ける。左右尻ポケットは、ファスナー方式としポケット両口端にはそれぞれ閉止めをする。

⑥ 天狗及び前立て

天狗は裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりとする。

天狗の鼻は島で持ち出すか「ち」を付け、先端にボタン穴をかがる。

前立てはしんを入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁き目はしんとともにオーバーロックかがりとする。

前立て飾りは、幅 3.5cm とし、天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央部にする。

小股の上のファスナーどまりに、天狗裏側から前たてとともに閉止めを入れる。

⑦ ファスナー付け

天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。

前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折し、2条縫いで縫い付ける。

⑧ 相引、内またしりぐり及び脇縫い

裁き目はオーバーロック、しりぐり、内またはミシン2回縫いし特にしりぐりは、糸切れを防ぐため伸ばして地縫いする。

脇縫いは、地縫い割とし、二重縫い又は環縫いミシンとし、裁き目はオーバーロックかがりとする。

⑨ しり縫い

地縫い割し、二重縫い又は環縫いミシンする。

上部の縫い代は2cm以上とし、裁き目はオーバーロックかがりとする。

棒シックは袋地使用、尻縫目にミシン目が表に出ないように長さ10cm、巾2cmのものを付ける。

⑩ 裾口

折り返しは3cm以上とし、オーバーロックがけミシンたたきとする。

⑪ 靴づれ

巾2cm、長さ18cmを付ける。

⑫ 片布

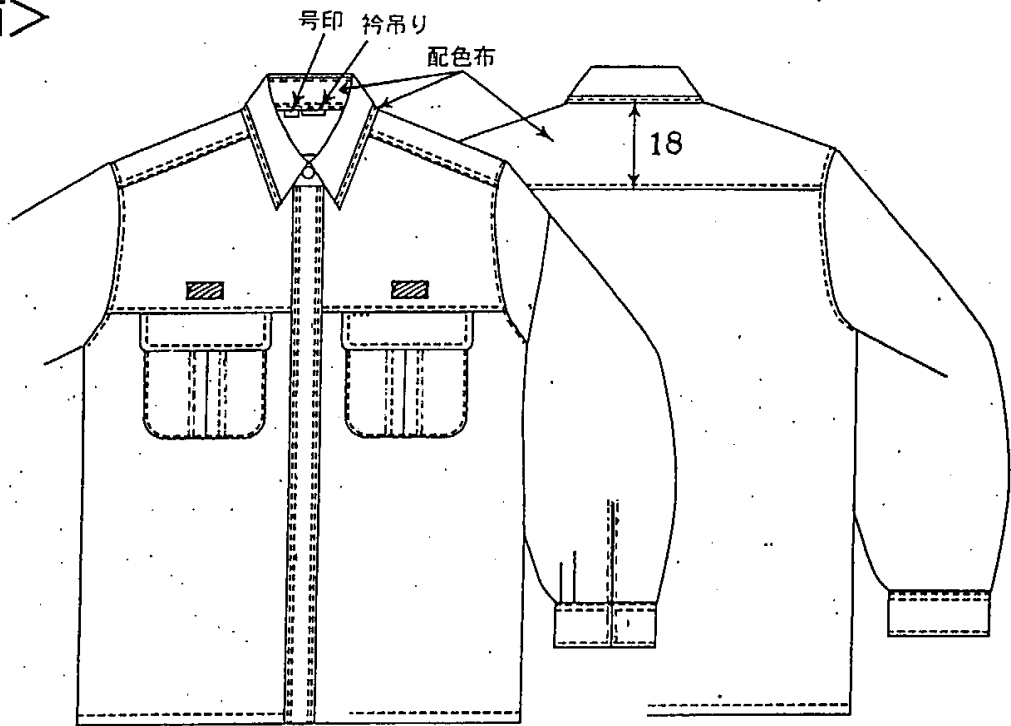
下前、脇ポケット裏に付ける。

氏名札片布には、納入年度及び納入業者名を記入すること。

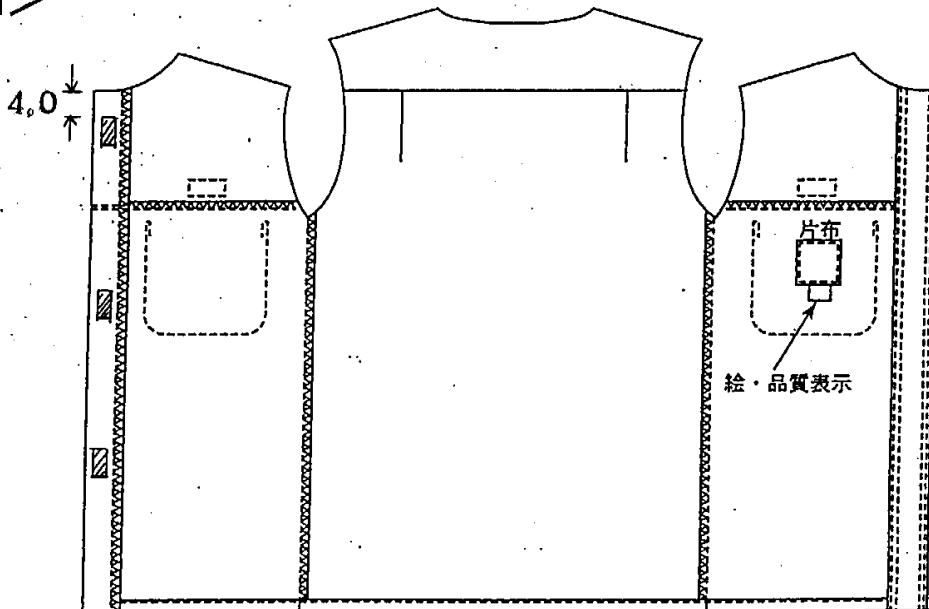
⑬ 穴かがり

機械穴、鳩目。

<表面>



<裏面>

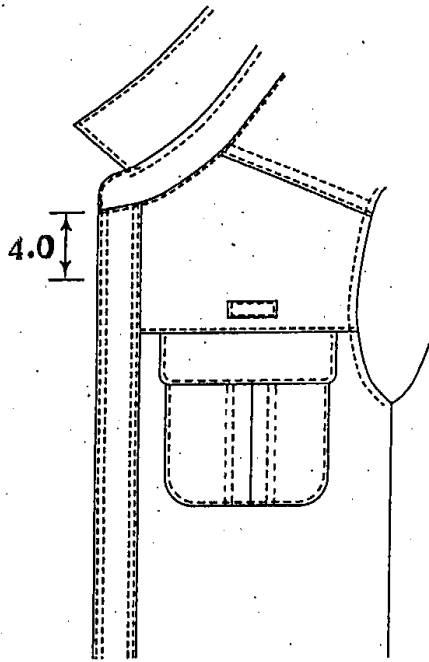


芯入本前立

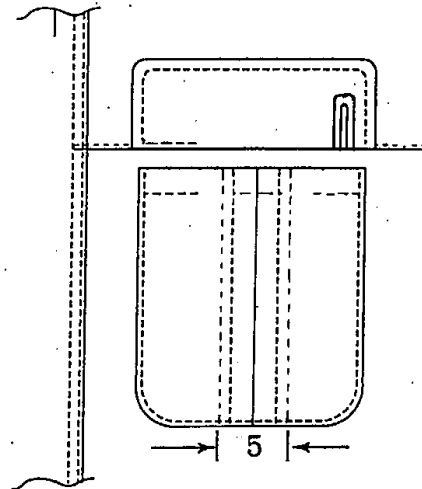
別紙2 階級章台座及びネーム位置
 上前胸ポケット雨蓋中央の位置とする。

<前見頃>

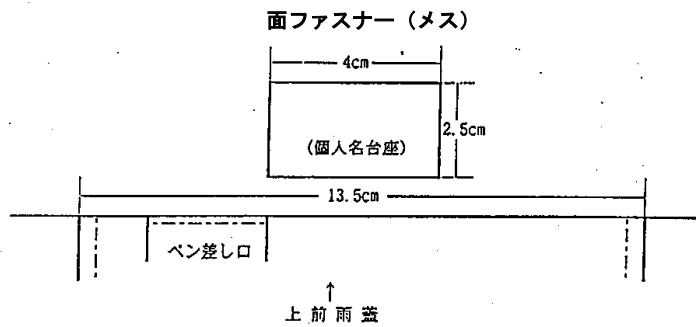
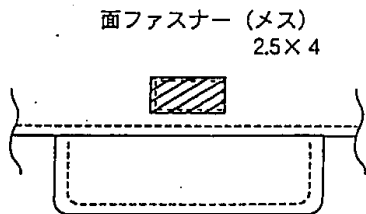
衿幅・後中心
 衿先



<胸ポケット>



<階級章台座・個人名台座>



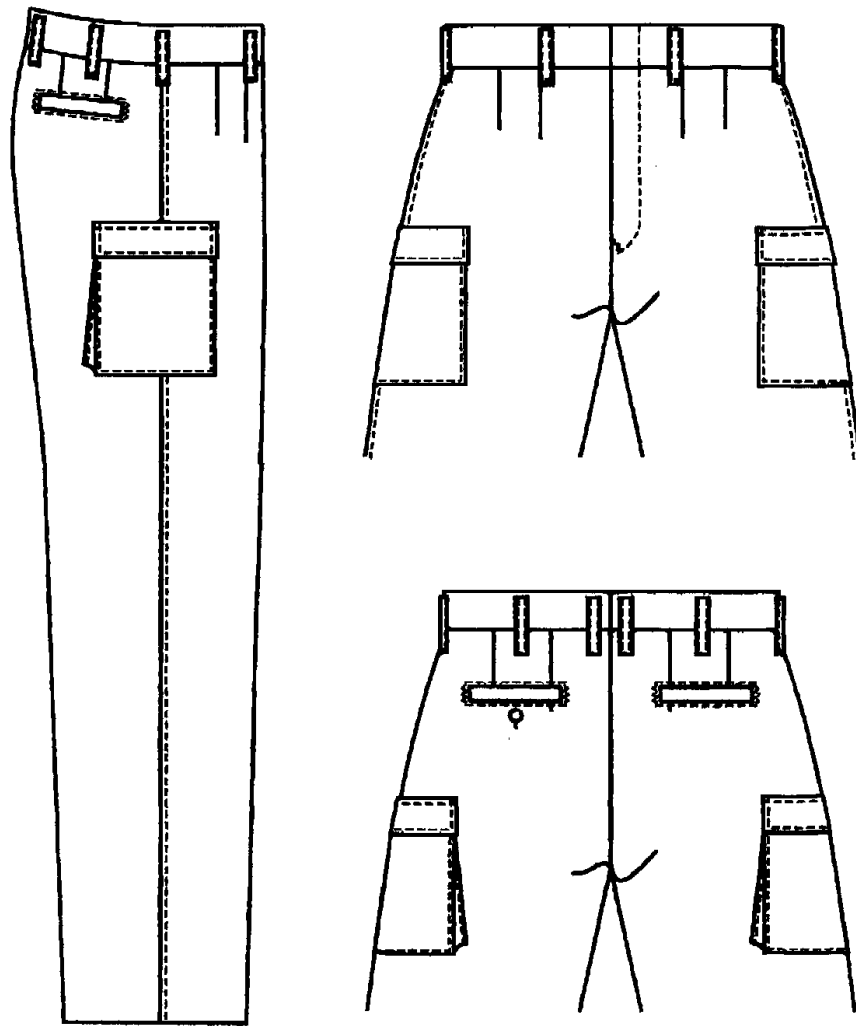
別紙3

- (1) 背ヨークの刺繍
字体及び寸法
寸法については、担当職員と協議する。

横約36cm 縦約10cm

西環市横芝光町消防組合

- (2) 素材
蓄光反射縫込みとする。
 - (3) 色
蓄光反射縫込み部分は白色、縁は紺色とし縁は細めにする。
 - (4) 書体
丸ゴシック字とする。
 - (5) その他
見本による。
- ※ なお、縫製（刺繍を含む）にあつては、十分な強度を持った仕上がりとする。



上 衣 寸 法 表

(出来上がり寸法)

	カラー	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈
AS	37	75	100	43	53
AM	38	77	105	44	55
AL	39	79	110	46	57
ALL	40	81	115	48	59
A3L	42	84	120	49	63
BS	38	75	110	45	52
BM	40	78	115	47	54
BL	42	81	120	49	56
BLL	44	81	125	51	56
B3L	47	84	130	53	60

衿回り及び衿丈については採寸を行うこと。

上記寸法に明記されていない部分のサイズは、サイズサンプル通りとする。

ズ ボ ン 寸 法 表

号数 区分	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	B2	B3	B4	B5	B6
腰廻	70	73	76	79	82	85	88	91	95	100	105	110
股下	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75

股下は採寸の上、裾上げを行うこととする。

上記寸法に明記されていない部分のサイズは、サイズサンプル通りとする。

別紙6

エンブレム台座

